

2019 年度事業報告書

I	事業の実施概要	
	(1) 助成事業	2
	(2) 表彰事業～放送文化基金賞の実施と他の賞への参加～	3
	(3) 制作者フォーラムの開催	4
	(4) 定期刊行物の刊行	5
	(5) ホームページ等による広報	6
	(6) 資産運用検討委員会の開催	6
II	処務の概要	
	(1) 役員、評議員等に関する事項	7
	(2) 理事会および評議員会に関する事項	9
III	付属明細書 (資料 1～4)	

2019 年度事業報告書

I 事業の実施概要

NHKによるテレビ放送のインターネット常時同時配信がスタートし、放送と通信の連携・融合が一段と進み、視聴形態も多様化しつつある。また、若年層を中心に放送への接触率は依然として低下傾向が続いている。

放送文化基金は、このように放送をとりまく環境が変わりゆくなかで、新たな時代の放送文化の向上により一層貢献するべく、計画した事業の着実に効果的な実施に努めた。

助成事業は、積立金の活用によって従来規模の助成額を確保したうえで、放送文化を広くとらえたテーマへの助成、また調査・歴史・理論それぞれのバランスを考慮した助成に努めた。なお、解散した東京ケーブルビジョンから受入れた寄付金を技術開発の助成金の一部に充当している。

表彰事業は、放送文化基金賞贈呈式のイベントとしての質的充実を図りつつ、視聴者に感銘を与え、放送文化の発展と向上に寄与した優れた番組の表彰に努めた。

制作者支援活動事業は、各地の実行委員会との共催による制作者フォーラムを「北海道・東北地区」、「愛知・岐阜・三重地区」、「九州・沖縄地区」で開催し、系列や地域の枠を超えた交流の場を若手制作者等に提供した。

また、当基金の設立50周年（2024年2月）を見据え、記念事業の検討に着手するとともに事業を実施するための原資を積み立てることとした。さらに電子会議システム導入により、理事会資料のペーパーレス化を図るなど業務の効率化にも取り組んだ。

(1) 助成事業

ア 2019 年度助成

2019 年度助成要項に基づき、技術開発、人文社会・文化の 2 分野を対象に公募を行った結果、86 件の申請があり、助成審査委員会の審査と理事会の審議を経て、最終的に 33 件、5,995 万円の助成を決定した。

申請および採択結果は、次の通りである。

(単位 万円)

区 分	申 請		採 択	
	件 数	金 額	件 数	金 額
技 術 開 発	22	7,753	10	2,995
人 文 社 会 ・ 文 化	64	13,699	23	3,000
合 計	86	21,452	33	5,995

(助成対象一覧 資料 1)

市場金利の低下により十分な資産運用収入の確保が難しい状況のなかで従来規模の助成を維持するため、2014 年度から 5 年間にわたり積み立てた助成費用準備資金 1 億円のうち今年度分として 2,000 万円を取り崩し、助成金の一部に充当した。

助成金贈呈式および研究報告会は 2020 年 3 月 2 日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止し、必要な事務手続き等は各応募者と個別に対応することとした。

イ 2017 年度助成事業の実施報告

2019 年 9 月～11 月に開催した其々の審査委員会で、2017 年度に助成した技術開発 11 件、人文社会・文化 34 件の実施報告（成果報告・2019 年 6 月末締切）について、一件ずつ内容の評価を行った。

(2) 表彰事業～放送文化基金賞の実施と他の賞への参加～

ア 第45回放送文化基金賞

2018年度中に放送された優れた放送番組（番組部門）と、主にその期間に顕著な業績をあげた個人・グループ（個人・グループ部門）を対象に、2019年4月～5月に開かれた各部門、各分野の専門委員会、審査委員会を経たのち、理事会で計30件を決定した。

応募・推薦および表彰結果は次のとおりである。

部 門	領 域	応募・推薦数	表彰数	備 考
番組部門	テレビドキュメンタリー	88	5	最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞3
	テレビドラマ	60	4	最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞2
	テレビエンターテインメント	72	4	最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞2
	ラジオ	35	3	最優秀賞1、優秀賞1、奨励賞1
	個別分野	—	6	番組部門受賞作品から選定
個人・グループ部門	放送文化	12	4	—
	放送技術	12	4	—
合 計		279	30	

(受賞一覧 資料2)

番組部門の賞金は最優秀賞100万円、優秀賞50万円、各奨励賞30万円、個別分野賞20万円。また、個人・グループ部門の賞金は30万円。

最優秀賞を受賞した番組は、テレビドキュメンタリー番組が『NHKスペシャル 消えた弁護士たち～中国“法治”社会の現実～』（NHK）、テレビドラマ番組が『NHKスペシャル 詐欺の子』（NHK名古屋放送局）、テレビエンターテインメント番組が『チョコちゃんに叱られる！』（共同テレビジョン、NHK、NHKエンタープライズ）、ラジオ番組が『SCRATCH 差別と平成』（RKB毎日放送・TBSラジオ共同制作）である。

個人・グループ部門では、放送文化が4件、放送技術が4件受賞した。放送文化基金賞の贈呈式と懇親パーティは、2019年7月2日にホテルオークラ東京で開催した。

イ 他の賞への参加

ABU（アジア・太平洋放送連合）番組コンクール、第46回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール、「創作ドラマ大賞」に参加した。

ABU番組コンクールの授賞式は、2019年11月21日に日本の東京・新宿で行われ、スポンサーの一員として賞金を贈呈した。

「日本賞」は、2019年11月8日に授賞式が行われ、「企画部門」で最優秀企画に選ばれた『パムジとブヨ』（南アフリカ）に対して放送文化基金賞を贈呈した。なお、第45回（2018年）の日本賞「企画部門」で放送文化基金賞を受賞した『命～自殺を止めるために』（メキシコ）は、番組として完成し、第46回日本賞コンクール開催期間中に上映会が行われた。

日本放送作家協会とNHKが主催する「創作ドラマ大賞」について、第44回「創作テレビドラマ大賞」の贈賞式は2019年11月1日に行われ、大賞の『星とレモンの部屋』（佃良太氏）に賞金50万円を贈呈した。第48回「創作ラジオドラマ大賞」では大賞の『届け、風の如く』（田窪泉氏）に賞金50万円を贈呈した。

（表彰結果 資料3）

（3）制作者フォーラムの開催

NHK、民放、制作プロダクション等、組織の枠を超えた制作者同士の自由な意見交換や交流の場を設けることを目的に開催している。

2019年度は、全国3地区で開催し、現地実行委員会と共催して、ミニ番組コンテストと実行委員会の企画によるパネルディスカッションや講演会が行われた。

○北日本制作者フォーラム in せんだい（北海道・東北地区）

＜北海道・東北の全民放とNHK 計40局＞

日 時 2019年10月25日（金）

会 場 せんだいメディアテーク／仙台市

参加者 約50名

○愛知・岐阜・三重制作者フォーラム in なごや（愛知・岐阜・三重地区）

＜愛知・岐阜・三重3県の全民放とNHK 計10局＞

日 時 2019年11月13日（水）

会 場 中京テレビ 放送プラザC／名古屋市

参加者 約120名

○九州放送映像祭&制作者フォーラム（九州・沖縄地区）

＜九州・沖縄の全民放とNHK、計35局＞

日 時 2019年12月7日（土）

会 場 NHK福岡放送局 よかビジョンホール／福岡市

参加者 約80名

さらに、2020年2月22日（土）に東京で全国制作者フォーラム2020を開催し、上記3地区のミニ番組コンテストで入賞した作品の上映とゲストのベテラン制作者による意見交換、トークセッション『危機か？好機か？～テレビのいまを語る～』を実施した。

（4）定期刊行物の刊行

2019年5月に助成対象の研究・事業の紹介、研究報告会と全国制作者フォーラム2019の概要などを掲載した広報誌「放送文化基金報」No.90を刊行。2019年9月には放送文化基金賞の受賞者インタビューなどを掲載したNo.91を刊行した。

(5) ホームページ等による広報

ホームページでは事業活動全般について定期更新以外にも随時更新を行い、情報公開と基金のPRに努めた。

<日本語版内容>

助成決定および成果報告／助成対象のデータベース／放送文化基金賞のデータベース／放送文化基金賞の受賞一覧／助成・放送文化基金賞WEB申込等システム／各地区制作者フォーラムの開催予告と結果報告／事業計画・収支予算／事業報告／財務諸表／役員・評議員名簿／基金の活動を親しみやすい形で紹介する読み物（読む・楽しむ）等

<英語版内容>

助成の募集案内、助成対象一覧、放送文化基金賞の受賞一覧、日本賞・ABU賞への参加について 等

(6) 資産運用検討委員会の開催

ア 目的等

資産運用の専門性をより向上させるための諮問的機関として設置しており、2019年9月と2020年1月に開催した。

イ 主なテーマ

- ・国内外の経済政策や金利・為替等の見通し
- ・債券市場や保有債券の分析、資産運用方針の検討等

ウ 構成委員

府川 行男 （三井住友DSアセットマネジメント㈱ シニアマネージャー）

森 幸嗣 （三井住友DSアセットマネジメント㈱ シニア・ファンﾄﾞマネージャー）

高橋 泰洋 (三井住友 DS アセットマネジメント(株) シニア・エコノミスト)
松原 克美 (放送文化基金 会計顧問・公認会計士)
清水 孝雄 (放送文化基金 監事・TBS社友)
田中 宏暁 (放送文化基金 監事・日本放送協会経営企画局長)
(幹事)
西村 睦生 (放送文化基金 専務理事)

II 処務の概要

(1) 役員、評議員等に関する事項

ア 役員を選任等

(ア) 第25回評議員会(2019年6月19日)において、全役員任期が満了となることを受け、次のとおり選任した。

(理事)

濱田 純一 氏 (東京大学名誉教授)
箕浦 康子 氏 (お茶の水女子大学名誉教授)
大石 芳野 氏 (写真家、日本大学客員教授)
安藤 裕康 氏 (国際交流基金理事長) 新任
羽鳥 光俊 氏 (東京大学名誉教授) 新任
西村 睦生 氏 (元日本放送協会仙台放送局長)

(監事)

清水 孝雄 氏 (TBS社友)
平林(田中) 宏暁 氏 (日本放送協会経営企画局長)

(任期は、2019年6月19日から2021年6月の定時評議員会まで)

なお、末松 安晴 理事長、藤井 宏昭 理事は、2019年6月19日付で退任した。

(イ) 理事長及び専務理事の選定

第 25 回評議員会で理事 6 名が選任されたのを受け、第 50 回理事会（2019 年 6 月 19 日）を開催して、定款第 28 条 2 項に基づき、濱田 純一 理事が理事長に西村 睦生 理事が専務理事に選定された。

(ウ) 理事長、専務理事の報酬について

第 25 回評議員会において、新しい理事長、専務理事の報酬については現行と同額としたいとの説明を受け、定款第 19 条第 2 項 (2) に基づき承認した。

イ 評議員の選任

第 25 回評議員会において、評議員の任期が満了となることを受け、定款第 15 条に基づき、評議員 20 名の選任を行なった。

青木 保 氏（政策研究大学院大学シニア・フェロー）
伊賀 健一 氏（東京工業大学名誉教授） 新任
池辺晋一郎 氏（作曲家）
上田 良一 氏（日本放送協会会長）
音 好宏 氏（上智大学教授）
木田 幸紀 氏（日本放送協会専務理事）
マーシャ・クラッカー氏（聖心女子大学教授）
今野 勉 氏（演出家、脚本家）
杉山 愛 氏（元プロテニスプレーヤー） 新任
鈴木 幸一 氏（インターネットイニシアティブ代表取締役会長 CEO）
高島 肇久 氏（海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長）
高橋 英樹 氏（俳優） 新任
遠山 敦子 氏（トヨタ財団理事長）
中村 桂子 氏（JT生命誌研究館館長）
西條 温 氏（日本ケーブルテレビ連盟名誉顧問）
長谷部恭男 氏（早稲田大学大学院教授）
福地 茂雄 氏（新国立劇場顧問）

堀木 卓也 氏 (日本民間放送連盟常務理事)	新任
向井 千秋 氏 (宇宙航空研究開発機構特別参与)	
和田 省一 氏 (朝日放送テレビ顧問)	新任

(任期は、2019年6月19日から2023年6月の定時評議員会まで)

なお、青木 隆典 評議員、小田島 雄志 評議員、長尾 真 評議員、羽鳥 光俊 評議員は、2019年6月19日の任期満了をもって退任。上田 良一 評議員は2020年1月24日付で退任した。

2020年3月31日現在の役員、評議員は資料のとおりである。

(役員、評議員一覧 資料4)

(2) 理事会および評議員会に関する事項

ア 理事会

開催年月日	主 な 議 案
2019. 6. 4 (第 49 回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2018(平成 30)年度事業報告および決算について ・ 任期満了にともなう評議員候補者の推薦について ・ 任期満了にともなう役員候補者の推薦について ・ 理事長、専務理事の報酬について ・ 第 45 回「放送文化基金賞」表彰対象について ・ 2019 年度「助成要項」について
2019. 6. 19 (第 50 回)	理事長及び専務理事の選定について

開催年月日	主 な 議 事
2019. 7. 12 (第 51 回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助成審査委員会 委員の委嘱について ・ 助成技術開発審査委員会 専門委員の委嘱について
2019. 10. 11 (第 52 回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 26 回評議員会の開催について ・ 事務局職員の処遇改善について ・ 2019 年度事業活動収支 施行見込について
2019. 12. 4 (第 53 回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会運営規則の改定について ・ 2020 年度予算編成の考え方について ・ 第 46 回放送文化基金賞「表彰実施細則」について
2020. 2. 7 (第 54 回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 27 回評議員会の開催について ・ 2019 年度助成の実施について ・ 資産運用規程の改定について ・ 2020 年度事業計画および収支予算の編成について ・ 2020 年度資産運用方針について ・ 審査委員会委員（助成・放送文化基金賞）の委嘱について ・ 放送文化基金賞 審査委員会専門委員の委嘱について ・ 2019 年度収支決算見込について

イ 評議員会

開催年月日	主 な 議 事
2019. 6. 19 (第 25 回)	<ul style="list-style-type: none">• 2018(平成 30)年度事業報告および決算について• 第 45 回「放送文化基金賞」選考結果について• 任期満了にともなう評議員の選任について• 任期満了にともなう役員の選任について• 理事長・専務理事の報酬について
2019. 12. 4 (第 26 回)	<ul style="list-style-type: none">• 評議員会開催回数の変更について• 2019 年度収支見通しおよび 2020 年度予算編成方針について

Ⅲ 付属明細書 (資料 1~4)